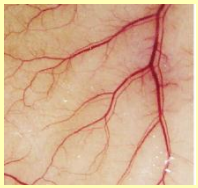
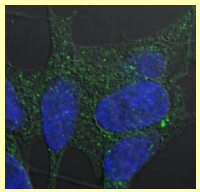
第14回 教育学部編 ～ 実習内容 ～

サブコース1
食品の機能性を科学実験から考える

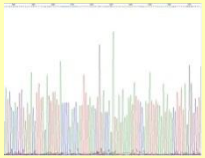
毎日の食事はヒトが生きていく上で欠かせないものです。食習慣が健康状態に影響することはよく知られており、食と健康の観点から食品成分の機能性が近年注目されています。そこで、食品機能成分の働きについて血管内皮細胞や脳血管に対する効果について実験を体験してもらい、食と健康について科学的理解を深めてもらいます。

《担当教員》
松原 主典

サブコース2 PCRの実験を体験しよう

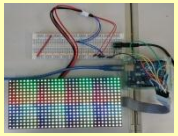
PCR（ポリメラーゼ連鎖反応）はDNAを増幅するための技術で、生物学の様々な研究に応用されています。最近では高等学校の生物の教科書にも掲載されるようになりましたが、実際にPCRを体験する機会は少ないのではないでしょうか？本コースでは、PCRの原理を分かりやすく解説するとともに、PCRに関する実験を体験することでバイオテクノロジーについての理解を深めることを目指します。

《担当教員》
富川 光

サブコース3
LEDで電気と光を体験しよう

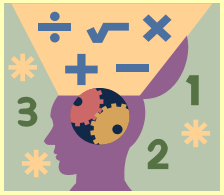
日本人がノーベル物理学賞を受賞したことで話題のLED。赤・緑・青の 3 色を組み合わせることで、様々な色に光ります。このコースでは、まずLEDを光らせる電気回路を作って、電気の流れとLEDの発光を体験します。次にLEDを使った電光掲示板を作ります。家庭や社会の様々なところで使われているLEDの光る仕組みを、体験しながら学びましょう。



《担当教員》
渡辺 健次

サブコース4 「こころ」を科学する

心理学で「実験をする」というイメージは、あまりないかもしれません。でも実は、心理学は多くの人が考えているよりもずっと科学的な学問です。「こころ」の様々な問題を解決するため、脳波や反応時間を測定した客観的なデータを集め、統計的な確率に基づいて「こころ」のしくみを調べています。そんな心理学の実験を体験してみましょう。



《担当教員》
森田 愛子